



信夫第二小学校 学校便り

きらら

〈教育目標〉

「めあてを持ち、やりぬく子ども」の育成

- よく考える子ども（学習：学力）
- 思いやりのある子ども（生活：人間力）
- 体をきたえる子ども（健康：体力）

No.14 令和3年9月1日(水)発行

防災の日～不意打ちの避難訓練～！

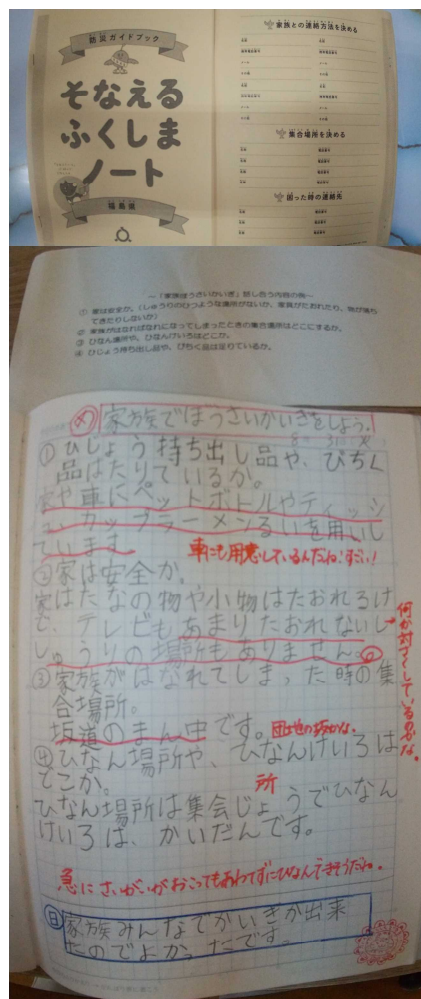
今日の業間の休み時間に、事前連絡なしで避難訓練を行いました。地震は、いつ、どこで、どのように発生するかわかりません。そして、地震の発生を防ぐことはできません。だからこそ、日頃からの備えによって、その被害をできる限り小さくすることが重要です。訓練をして、体に動きを覚えさせることも大事なのです。

休み時間の突然の緊急地震速報は、かなり動揺したと思います。今までの避難訓練は、担任の先生や学級の仲間と授業しているときに、予告どおりに実施していたためです。今日、子どもたちは、全校集会での一斉指導や各学級での防災指導を生かして、精一杯気持ちを落ち着かせながら、無事避難することができました。

終了後、子どもたちと全校集会時に学んだポイントを基に自分の行動を振り返ったり、防災ガイドブック「そなえるふくしまノート」を配付し、命を守る方法や行動を確認したりしました。宿題を出しました。ノートの裏面にある「家族との連絡方法」「集合場所」「困ったときの連絡場所」をお家の人と話し合って記入することです。書き終えたら、常にランドセルに入れておくようご指導ください。

実は、上記の宿題は、全校集会の時、校長から全校生への宿題だと伝えてありました。3年生の愛莉さんは、この言葉をしっかりと覚えていてくれて、すでに自主学習でお家の人と確認していました。課題は「家族で防災会議をしよう」です。素晴らしい！ぜひ参考になさってください。

防災ガイドブック「そなえるふくしまノート」は、大変分かりやすく、大人が読んでも参考になるものです。保護者や地域の皆様にもご一読いただきたいです。詳しくは、信夫二小ポータルサイトの「学校だより」からご覧いただけるようにしておきます。



＜感染力の強い新型コロナ変異株への対応策＞

感染力の強い変異株が拡大しており、学校における感染拡大を防ぐために、次の3点への協力をお願いいたします。

- 1 **お子様に発熱がなくとも頭痛、のどの痛み、鼻水等の風邪症状が見られる場合**
◇ **登校させない**。医療機関を受診し、症状が無くなるまで自宅で過ごしてください。
◇ この場合には、「出席停止」として扱います。
- 2 **同居家族に発熱等の風邪症状が見られた場合**
◇ **家族の症状が無くなるまで登校させない**。自宅で過ごすようにしてください。
◇ この場合には、「出席停止」として扱います。
- 3 お子様または同居家族が「陽性者」、「濃厚接触者」、「接触者」とであると保健所より連絡を受けた場合
◇ **登校させない**。「出席停止」となります。
◇ **必ず学校へ連絡願います**。
◇ 同居家族がPCR検査を受ける場合も、学校へ連絡願います。